

キテネ、アフリカン・ポップス！キヨウト、ミンナキテネ、アフリカン・ポップス！キヨウト、

AFRICAN POPS!

2017.02.18.(Sat.)

Open/16:00 Start/16:30

at 京都メトロ

All 2,000yen

+1Drink 500yen



ゲスト！ニヤマ・カンテ！スペシャルゲスト！ニヤマ・カンテ！スペシャルゲスト！ニヤマ・

文化人類学者が語り演じる アフリカン・ポップス！ 2017 京都編

プログラム

※都合により変更の可能性がございます。ご了承ください。

16:30 はじめに<鈴木 裕之>

16:35 アフロポップ×ヒップホップ=?: アフリカン・ポップスの創造力<矢野原 佑史>

現在、アフリカ都市部では、アフロポップと呼ばれるアフリカ産ポップミュージックと、アメリカ産のヒップホップが混ざり合い、「新生アフリカン・ポップス」が生まれています。カメルーンのスタジオで作曲を重ねた矢野原が、その現場を京都メトロにて再現します。アフリカン・ポップスが生まれる時を体感してください！

16:50 The Sensory Evocation: エチオピアのストリートより<川瀬 慶>

エチオピアのストリートで出会った人々と私の交流についての散文の朗読と、現地で記録した映像や音をくみあわせたパフォーマンスを行う。

17:10 DJ Time

17:20 ダンス見聞録・ギニア&セネガル編<中川 千草 & 菅野 淑>

西アフリカの音楽文化は古くより親しまれてきました。それらは「伝統」として人びとからいまも敬われ引き継がれつつも、時代のニーズに合わせ、変化を遂げています。今回は、現代都市部におけるダンスシーンに注目し、映像資料および生音パフォーマンスを通して、ギニアとセネガルそれぞれの現地の様子をお届けしたいと思います！

18:00 子どもに名前を付けたら踊りまくろうinアビジャン(ミニ・フィルム) + グリオと人類学者の夫婦ライヴ<鈴木 裕之+ニヤマ・カンテ>

ミニ・フィルム: コート・ジヴォワールのアビジャンでは子供の命名式が大々的に祝われる。

その準備から当日のセレモニーまで、ニヤマ・カンテによるナビゲートでその模様を紹介する。撮影は昨年の8月。

夫婦ライヴ: 鈴木のアコギの伴奏で、ニヤマ・カンテが歌う。マンデ風、ブルース風、日本(?)風と、様々な曲調にのせて、力強い歌声を披露する。

18:45 ジャム・セッション<ニヤマ・カンテ+矢野原 佑史>

アフリカン・ポップス！研究会

アフリカのポップスをテーマに研究をすすめている文化人類学者が集まって立ちあげた「アフリカン・ポップス！研究会」は、2016年1月～3月、「文化人類学者が語り演じるアフリカン・ポップス！」と題して、アフリカのポップスやサウンド・スケープを表現し伝達するため、文化人類学者自身が「パフォーマー」となって、自由な形式でアフリカのポップスやサウンドについて「語り」「演じる」イベントを開催しました。1月の東京、2月の名古屋、3月の京都、いずれも多くの方々に参加していただき、好評を得ることができました。

2017年もまた、新たな表現・伝達方法を模索しながら、さらにパワーアップしたイベントを企画しました。コート・ジヴォワールの鈴木、エチオピアの川瀬、カメルーンの矢野原が、前回とは別のかたちで演じます。京都編では、ギニアの中川とセネガルの菅野も加わります。アフリカの現場を知りつくした学者ニパフォーマーが、それぞれの視点から独自の表現形態でアフリカの文化をお届けします。もちろん、ニヤマ・カンテによる迫力のステージは健在。それに加え、今回はエンディングにニヤマ・カンテと矢野原によるアドリブ・セッションを用意しました。

研究者のみならず、アフリカ音楽に関心のある方すべてに参加していただきたいと思います。なお、このイベントは東京に続く第2回で、名古屋(3月25日)へと続きます。

【関連書籍のご案内】



『アフリカン・ポップス！
-文化人類学からみる魅惑の音楽世界』
鈴木裕之・川瀬慈編
2015年3月出版 明石書店

7名のフィールドワーカーによって描き出される
アフリカ・ポピュラー音楽の世界とは...?
会場で特別価格にてご購入いただけます。

2017年2月18日(土)

16:00 オープン／16:30 スタート

入場料: 2,000円 + 1ドリンク500円

会場: 京都メトロ

[京都市左京区川端丸太町下ル下堤町82 恵美須ビルB]

京阪電車でお越しの際には、神宮丸太町駅2番出口階段を上がりきるまでにあります。地上からお越しの際には、川端丸太町交差点東南の京阪電車入口よりお入り下さい。

出演者



鈴木 裕之 (国士館大学 教授)

西アフリカ、とくにマングンと呼ばれる人々の音楽を研究。ニヤマ・カンテの夫。



ニヤマ・カンテ (ゲストアクト)

コート・ジヴォワール & ギニア出身の歌手。伝統的語り部「グリオ」の家系。鈴木裕之の妻。



川瀬 慶 (国立民族学博物館 助教)

エチオピアの音楽、ストリート等をテーマにした人類学研究、民族誌映画制作にとりくむ。



中川 千草 (龍谷大学 講師)

ギニアと日本の海辺でフィールドワークをしています。



菅野 淑 (日本アフリカ学会 会員)

セネガルを中心に西アフリカのダンスを踊って文化を学んでいます。



矢野原 佑史

(京都大学アフリカ地域研究資料センター 研究員、

国立民族博物館 外来研究員)

カメルーンのポップ・ミュージックと伝統音楽を研究しています。

お申し込み

人数把握のため、なるべく予約をお願いします。

お名前とメールアドレスを記載の上、

africanpops2017@gmail.com にメールをお送りください。

なお、当日受付も可能です。

お問い合わせ

[\(代表者: やのはら\)](mailto:africanpops2017@gmail.com)

主催: アフリカン・ポップス！研究会

後援: 日本アフリカ学会 関西支部

